

石造無縫塔・石造宝篋印塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうむほうとう・せきぞうほうきょういんとう
所在地	津山市加茂町塔中
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	無縫塔は、総高123cm、花崗岩製。銘は無いが、様式などから南北朝時代の造立と考えられている。基礎・竿・中台・請花[うけばな]・塔身からなり、基礎・竿・中台は八角で、単弁の請花に卵形の塔身が乗る。宝篋印塔は、総高133cm、花崗岩製。基礎・塔身・笠・相輪[そうりん]からなり、塔身は無地で、笠の四隅はほとんど垂直に立っている。無縫塔と並立していて、同時期に造られたものと見られている。傍らには、これらについて記した宝暦12年(1762)銘の石碑がある。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	